
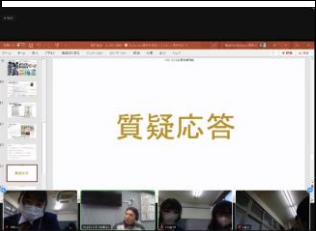


## 2024年度 TIA国際理解授業プログラム概要

<h3>TIA職員による プログラム</h3>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TIAの職員が講師となり、学校へ伺い実施します。2～3カ月前を目安にご相談ください。</li> <li>・オンラインでの授業も可能です。</li> <li>・TIA職員のための授業の場合は謝礼は不要です。</li> </ul>
-----------------------------	---

	No.	テーマ	対象学年	関連教科	時間	内容	イメージ写真	活用事例 (2023)	その他
授業概要	1	外国人と日本語で話そう！ やさしいにほんごコミュニケーション	3年生以上	総合 国語 外国語 道徳 など	1時限	日本で暮らす外国人は、多くの人が日常的に日本語に触れています。簡単な日本語なら理解できたり、伝え方を工夫すればコミュニケーションを取ることができます。日本語で意思疎通をとることを目指した、多文化共生の入り口となるプログラムです。低学年向けにはクイズを交えて、高学年以上の方向けにはわかりやすい表現について話しあうプロセスを入れて実施します。	<p>言葉のかべ やさしいにほんごー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">1. 登校</div> <div style="background-color: #ffffe0; padding: 2px;">1. 学校へ いく</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">2. 仕事</div> <div style="background-color: #ffffe0; padding: 2px;">2. はたらく</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">3. 土足禁止</div> <div style="background-color: #ffffe0; padding: 2px;">3. くつを ぬいでください</div> </div> <p>・他にも、敬語（けいご）を使わなかったり、専門用語を日常的な言葉に言いかえたりすると、理解しやすくなります。</p>	<p>テーマについて学んだ後、外国人講師に日本語で校内の案内をしました（計2時限）</p>	TIA職員が講師を務めます。
	2	小さな差別の言葉 「Microaggression」を学ぼう	中学生～ 高校生	総合 道徳 など	2時限（理解を深めるため、2時限を推奨。1時限でも可）	Microaggressionは「小さな差別」と訳されます。話し手は他人を傷つける意図なく話していても、受け取り手は傷ついてしまう発言や行動のことを指します。一見、誉め言葉と考える「日本語が上手ですね」という言葉も、日本生まれ外国ルーツの人や、在住歴が長い人にとっては、いつまでもたっても同じ国（日本）の住民として認めてもらえない気持ちの裏返しにとれることもあります。マイクロアグレッションの概念を知り、多文化共生のコミュニケーションについて考えます。		<p>入学間もない時期に、外国ルーツの生徒とのコミュニケーションを考えることを目指して実施しました（計2時限） 中学校や高校での授業が多いです。</p>	TIA職員が講師を務めます。グループディスカッション等を交えて行うことが多いです。
	3	姉妹都市「英国」在住の日本人駐在員との交流	中学生～ 高校生	外国語 総合	1時限	英国在住の日本人駐在員とオンラインでつなぎ、英国と日本の違いを日本語で学びます。「外国に暮らす日本人から見た外国語」をテーマに、英語を使って暮らすことについてや、講師が現在の職に就くまでの経験談などを紹介しました。内容については、講師と相談が可能です。		<p>高校のクラブ活動で「外国に暮らす日本人から見た外国語」をテーマに実施しました（講演30分、質疑20分）</p>	オンライン環境が必要です。時差があるため、午後3時以降の授業になります。（英国時間では午前7時のため）

## 講師派遣 プログラム

教科に関連した内容で、講師の派遣（外国人・日本人）を行います。テーマによって講師を探すことが困難な場合もありますので、2～3カ月前を目安にご相談ください。

活用例（過去に実施した授業）：

- ・総合：食文化、主食（稲、小麦）（フランス、フィリピン、ベトナム）
- ・国語：地域の過去を知り、未来の姿を考える（地域在住の日系ブラジル人と日本人支援者）
- ・音楽：世界の声楽（モンゴル）
- ・外国語：英語でイスラム文化を学ぶ＆1問1答（パキスタン）

講師の派遣にかかる費用（目安：TIA規定では謝礼3000円+交通費実費）をご負担ください。謝礼のご用意がない場合、TIAまでご相談ください。

	No.	テーマ	実施学年	実施教科	時間	内容	写真	事前準備	その他
授業事例	1	主食の違いについて（フランス出身講師）	5年生	総合	1時限	年間を通して学年で取り組むお米作りにちなみ、主食について学ぶことをテーマに、フランスの小麦食文化や米食の紹介を日本語で行った。学校からの要望を受け、質疑応答に多くの時間を充て実施しました。 1クラス1時限で、計3回（3クラス）実施しました。		事前にフランスについての予習と、講師への質問を考えてもらい授業に臨みました。	プロジェクター、パソコンを学校にご用意いただきました。
	2	ブラジル文化紹介（ブラジル出身講師）	5, 6年生	総合	1時限	「ブラジル」を知ることを目的に、「ブラジル文化紹介」と、「日本のブラジル」をテーマに、クイズやポルトガル語レクチャーなど、講師との交流を交え実施しました。移民の歴史や、市内の外国人状況についても触れ、ブラジル出身者が多い豊田市についての理解を深めました。		事前にブラジルについての調べ学習を行い、外国人講師による授業に臨みました。	複式学級での実施でした。電子黒板をご用意いただきました。
	3	外国で生まれ育った方にお話を聞いてみよう（フィリピン出身講師、中国出身講師）	2年生	生活科	1時限	生活科：せかいのなかま 外国人講師や外国にルーツを持つ児童の知識・経験をフィルターとして、外国との結びつきを学んだ。言葉、食べ物、遊びにテーマを絞り、体験を重視し、食材などの実物に触れながら学ぶことを心掛け、紹介を行いました。 クラスに在籍する外国ルーツの児童の国について知るため、2カ国を取り上げ、各1時限で実施しました。		低学年への授業のため、内容を絞り、体験を多く取り入れる形で実施しました。担任と講師の打ち合わせも2回実施しました。	「We Loveとよたっ子」プログラムに掲載中です。
	4	外国で働くことについて（フランス出身講師）	中学1年生	総合	1時限	多様な人々と共に働く生徒の将来に向け、フランスの多文化共生社会について学びました。また、文化が異なる日本（外国）で働く講師の経験談について講師が紹介しました。 7クラス合同で体育館で実施しました。		フランス文化の予習及び働くことについての考えの整理を事前に予習として実施しました。	プロジェクター、パソコン、マイクをご用意いただきました。